

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)	頁
都市計画部	都市景観室	まちなみ再生事業	14,161	14,161	1
都市計画部	都市景観室	良好な景観の形成(屋外広告物関連事業)	1,741	1,741	3
都市計画部	都市景観室	良好な景観の形成(景観形成事業)	7,721	7,476	5
都市計画部	都市景観室	公共施設等サイン管理	4,707	4,707	7
都市再生部	都心活性化担当	都心活性化推進事業	44,042	42,919	9
都市再生部	都心活性化担当	都心整備管理事業	49,687	49,687	11
都市再生部	ベイエリア推進担当	臨海部整備推進事業	11,586	11,586	13
都市再生部	ベイエリア推進担当	臨海部整備推進事業管理経費	28,201	28,201	15
都市再生部	ベイエリア推進担当	臨海部活性化推進事業(ベイエリア)	21,249	21,249	17
都市再生部	堺駅エリア整備担当	環濠都市堺の再生事業	12,179	12,179	19
都市再生部	堺駅エリア整備担当	臨海部活性化推進事業(大浜北町市有地活用事業)	391,480	391,480	21
交通部	交通政策担当	泉北高速鉄道通学費負担軽減事業	16,512	16,512	23
交通部	交通政策担当	路面電車活性化事業	18,633	18,633	25
交通部	交通政策担当	公共交通利用促進事業(交通政策担当)	93,449	93,449	27
交通部	公共交通担当	公共交通利用促進事業(公共交通担当)	464,644	464,552	29
交通部	公共交通担当	バス運行事業(堺市乗合タクシー運行事業)	43,470	43,470	31
交通部	東西交通担当	堺・モビリティ・イノベーション推進事業	39,240 【債務負担行為】 45,000	34,991 【債務負担行為】 43,000	33
都市整備部	都市整備担当	密集住宅市街地整備事業(新湊地区)	289,823	289,823	35
都市整備部	中百舌島・拠点整備担当	都市再開発等推進事業	68,117	63,581	37
住宅部	住宅まちづくり課	住宅専門家相談事業	892	892	39

その他事業一覧

部名称	課名称	事業名称	令和4年度 要求額 (千円)	令和4年度 最終査定額 (千円)	頁
住宅部	住宅まちづくり課	堺市民間分譲マンション建替え促進事業	8,000	8,000	41
住宅部	住宅まちづくり課	泉北ニュータウン子育て世帯住まいアシスト事業	29,679	29,679	43
住宅部	住宅管理課	転用敷地処分事業	18,036	18,036	45

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	まちなみ再生事業	事業番号 017-006
担当部署名	建築都市 局 都市計画 部	都市景観 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ~Legacy~	施策	(2) 環濠エリア・堺旧港の魅力の創出	
		有	取組の方向性	②歴史的なまちなみ再生・歴史的建築物の保全				
		寄与するKPI	有・無	指標名	環濠エリアへの来訪者数			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	300.0万人(2025年度)	
		有	取組	観光客の受け入れ環境の整備推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—		目標値	—	
2	関連計画	堺市景観計画、堺市歴史的風致維持向上計画、堺市地域住宅等整備計画						
3	事業開始年度	平成 24 年度		終了(予定)年度	令和 6 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	街なみ環境整備事業制度要綱、堺市街なみ環境整備事業修景施設整備補助金交付要綱、堺市街なみ環境整備事業協議会活動補助金交付要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人、物、対象数)	環濠エリアのうち、特に町家が多く残る北部地区の歴史的なまちなみ (約43ヘクタール)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	町家歴史館 (山口家住宅及び清学院)をはじめとする町家や、妙國寺、本願寺堺別院といった多くの寺社が立地し、歴史的風致が残る環濠エリア北部地区において、歴史文化を活かしたまちなみの再生を図ることにより、堺の魅力向上を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・“歴史的なまちなみ再生”に向けて国の「街なみ環境整備事業」を活用し、堺市街なみ環境整備事業計画に基づいた、町家の外観修景や道路の美装化等に向けた取組み及び地域住民による「堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会」が行う、情報発信やイベントによる啓発活動への活動支援によりまちなみの再生を図る。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	街なみ環境整備事業修景施設整備補助事業者、堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績		実績見込み		目標		目標 終了(予定)年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和6年度			
11	修景施設整備助成件数	件	目標値	3	3	7	3		
			実績値	4	3				
			達成率	133%	100%				
	当該指標を選定した理由	修景施設整備が進むことにより、歴史的なまちなみの再生につながる							
	目標値の設定根拠・算出方法	修景整備助成について、毎年3件実施する目標設定							
12	活動指標(成果を上げるための手段) 歴史的なまちなみ勉強会等の開催数	回	実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度			
			目標値	3	3	3			
			実績値	2	3				
	達成率	67%	100%						
	当該指標を選定した理由	協議会との協働による勉強会等の開催により、地域の機運醸成につながる							
	目標値の設定根拠・算出方法	魅力と賑わい向上に係る取組みとして、勉強会等を毎年3回開催する目標設定							

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	まちなみ再生事業	事業番号	017-006
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	7,430	11,243	12,468	18,129	14,161
		国支出金	5,042	1,581	4,793	9,000	7,000
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	2,388	9,662	7,675	9,129	7,161

事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R3	予算	事業費	うち 一般財源		R3	予算	事業費	うち 一般財源				
		街なみ環境整備事業建物等修景補助金	R3	予算	17,000	8,500	会場借上料	R3	予算	20	20				
			R4	予算	13,500	6,750		R4	予算	20	20				
		まちづくり協議会活動補助金	R3	予算	500	250		R3	予算						
			R4	予算	500	250		R4	予算						
		消耗品費	R3	予算	52	52		R3	予算						
			R4	予算	46	46		R4	予算						
		通信運搬費	R3	予算	55	55		R3	予算						
			R4	予算	93	93		R4	予算						
		その他保険料	R3	予算	2	2		R3	予算						
			R4	予算	2	2		R4	予算						

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・街なみ環境整備事業方針及び事業計画の策定、町なみ再生協議会設立 (H26年度)、協議会活動支援 (H26年度～) ・まちなみガイドライン策定 (H27年度)、修景補助制度の運用 (H27年度～)
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・修景補助制度の運用、協議会活動支援
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・修景補助制度の運用、協議会活動支援

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>環濠エリア北部地区において、「堺環濠都市北部地区町なみ再生協議会」が行うまちなみ再生に資する活動に対して支援を行うとともに、堺市街なみ環境整備事業修景施設整備補助制度の活用により、周辺の歴史的なまちなみとの調和を促進し、地域の意識醸成につながることで、堺環濠エリア北部地区の歴史的なまちなみ再生及び保全に寄与し、ランドデザイン2040による環濠エリアの新たな魅力創出を促進させる。</p> <p>また、堺市基本計画2025のKPIである環濠エリアの来訪者数の増加に向けて、周辺の歴史的なまちなみとの調和に配慮した修景補助を行うことで、他部局の事業とともに観光客の受け入れ環境の整備としてKPIに寄与している。</p>
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	良好な景観の形成 (屋外広告物関連事業)		事業番号	017-007
担当部署名	建築都市	局	都市計画	部
			都市景観	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ~Legacy~	施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
2	関連計画	施策との関連	有	取組	百舌鳥古墳群の保全		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
3	事業開始年度	平成 8 年度		点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	屋外広告物法、堺市屋外広告物条例、堺市路上違反簡易広告物除却活動員制度要綱					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	屋外広告物の広告主、施設管理者、屋外広告業を営む者					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	良好な景観を形成し、風致を維持し、公衆に対する危害を防止すること					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>・安全でかつ景観に配慮した秩序ある屋外広告物の掲出を促進し、良好な景観を実現するため、屋外広告物法及び堺市屋外広告物条例等に基づき、屋外広告物許可制度及び屋外広告業登録制度並びに堺市路上違反簡易広告物除却活動員制度を実施する。</p> <p>・百舌鳥古墳群周辺地域における基準に適合しない広告物について、早期の適正化に向けて周知・啓発・指導等を行う。</p>					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)						
10	公民連携・協働事業						

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 屋外広告物許可件数	件	目標値	—	900	900	1,000		
		実績値	846	929				
		達成率	—	103%				
		当該指標を選定した理由	屋外広告物の許可を受け、景観に配慮した広告物が増えることにより、良好な景観形成に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		制度の周知等により申請が増加すると想定し、目標に設定。						
12 百舌鳥古墳群周辺地域内の屋外広告物の適正化件数 (累計)	件	実績	令和2年度	79	85	88		
		実績見込み	令和3年度	80	85			
		目標	令和4年度	101%	100%			
		当該指標を選定した理由	百舌鳥古墳群周辺地域における既存不適格広告物の適正化が進むことにより、良好な景観形成に寄与するため。					
目標値の設定根拠・算出方法		適正化件数の累計として、点検年度に100件適正化することを目標に設定。						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	良好な景観の形成（屋外広告物関連事業）	事業番号	017-007
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
		事業費 (a)			8,501	10,016	7,972
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他（世界遺産保全活用推進基金）	6,100	8,015	0	5,000	
		受益者負担金(使用料、手数料等)	2,401	2,001	7,972	1,426	1,741
		一般財源					

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
				屋外広告物適正化促進事業補助金	R3	予算	5,000	0	通信運搬費	R3	予算
			R4	予算	0	0	R4	予算		233	0
		屋外広告物許可区域図修正業務等	R3	予算	100	0		R3	予算		
			R4	予算	1,203	0		R4	予算		
		印刷製本費	R3	予算	297	0		R3	予算		
			R4	予算	100	0		R4	予算		
		消耗品費	R3	予算	58	0		R3	予算		
			R4	予算	85	0		R4	予算		
		その他保険料	R3	予算	126	0		R3	予算		
			R4	予算	120	0		R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物許可制度の運用及び周知・啓発 ・百舌鳥古墳群周辺地域の許可申請手続等の周知・啓発・指導 ・百舌鳥古墳群周辺地域の適正化に向けた補助金制度の運用
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物許可制度の運用及び周知・啓発 ・百舌鳥古墳群周辺地域の適正化に向けた周知・啓発・指導
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物許可制度の運用及び周知・啓発 ・百舌鳥古墳群周辺地域の適正化に向けた周知・啓発・指導

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>屋外広告物許可制度の運用並びに百舌鳥古墳群周辺地域における屋外広告物の適正化及び周知啓発等を実施する。また、屋外広告物許可申請等の手続きのオンライン化に向けて、管理システムを改修する。</p>
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	良好な景観の形成 (景観形成事業)			事業番号	017-008
担当部署名	建築都市	局	都市計画	部	都市景観 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ~Legacy~	施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出	
		有	取組の方向性	①百舌鳥古墳群の保全・継承とゲートウェイ機能の強化				
	寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.4		
		有	取組	百舌鳥古墳群の保全				
	寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画	堺市景観計画、堺市歴史的風致維持向上計画						
3	事業開始年度	平成 6 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	景観法、景観法施行令、景観法施行規則、堺市景観条例、堺市景観条例施行規則						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	市民 (約83万人)、建築事業者等
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	本市の良好な景観形成を進めることにより、都市の個性づくりや魅力向上を図るとともに、まちなみの美しさを高めるため、総合的な景観施策の展開と景観誘導を進める。
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	・堺市全域において、大規模な建築物や工作物の新築などを行う場合、景観法及び堺市景観条例等に基づき大規模建築物等の届出制度による行為の制限 (景観形成基準) に基づく審査を実施することにより、実効性ある景観誘導を進め、都市の個性づくりや魅力向上に向け、持続的に良好な景観形成を図る。
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	・百舌鳥古墳群周辺地域において、建築物の新築などを行う場合、景観法及び堺市景観条例等に基づき、認定申請制度による形態・意匠の制限に基づく審査を実施することにより、良好な景観形成を図る。
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検年度	
							令和2年度
11 景観法に基づく大規模建築物等の届出件数及び景観地区の認定申請数	件	目標値	—	120	120	120	
		実績値	118	136			
		達成率	—	113%			
		当該指標を選定した理由	制度の適正な運用を図ることにより、実効性のある景観誘導を進めることができるため。				
目標値の設定根拠・算出方法	例年の届出等件数から、目標件数を設定						
12 堺市景観アドバイザーによる助言件数	件	実績	令和2年度	実績見込み	令和3年度	目標	令和4年度
		目標値	—	30	30		
		実績値	30	30			
		達成率	—	100%			
当該指標を選定した理由	専門的な知識及び経験を有するアドバイザーによる助言を受けることにより、良好な景観形成の推進を図ることができるため。						
目標値の設定根拠・算出方法	例年件数から、目標件数を設定						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	良好な景観の形成（景観形成事業）	事業番号	017-008
-------	------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
	723	1,428	428	2,024	7,721
13 財源内訳					
国支出金					2,500
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	723	1,428	428	2,024	5,221

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	景観審議会委員報酬	R3	予算	286	286	その他報償費	R3	予算	105	105
		R4	予算	225	225		R4	予算	60	60
	景観審査委員会委員報酬	R3	予算	102	102	消耗品費	R3	予算	18	18
		R4	予算	102	102		R4	予算	15	15
	景観賞選考委員会会員報酬	R3	予算	102	102	筆耕翻訳費	R3	予算	185	185
		R4	予算	102	102		R4	予算	56	56
	景観アドバイザー報酬	R3	予算	980	980	印刷製本費	R3	予算	0	0
		R4	予算	980	980		R4	予算	109	109
	ポータルサイト選定委員会委員報酬	R3	予算	0	0	堺市景観計画改定支援業務等	R3	予算	0	0
		R4	予算	82	82		R4	予算	5,990	3,490

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R4 ~ R5	要求額	8,000
----	----	---------	-----	-------

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく届出制度や景観地区の認定制度の運用、周知 ・景観賞 ・景観審議会、景観審査委員会
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく届出制度や景観地区の認定制度の運用、周知 ・景観賞、景観審議会、景観審査委員会 ・景観計画改定業務
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・景観法に基づく届出制度や景観地区の認定制度の運用、周知 ・景観計画改定業務 ・景観賞、景観審議会、景観審査委員会

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>市域全域での良好な景観形成を図るため、景観法に基づく大規模建築物等の届出制度を実施し、百舌鳥古墳群周辺地域ではより一層きめ細やかに景観誘導するため景観地区認定制度を実施している。また、申請について、オンライン化に向けてシステムを改修する。</p> <p>堺市景観計画策定から10年経過し、上位計画である堺市基本計画2025や堺市SDGs未来都市計画の策定、ランドデザイン2040も作成されるなど、市の方針も大きく変わっていることを受け、堺市景観計画の改定に向けた検討を行う。</p> <p>また、景観形成に関する啓発事業として、市民や関係者の意識を醸成し、魅力ある景観の創出を促進するため、第19回堺市景観賞を実施する。</p>
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共施設等サイン管理			事業番号	017-009
担当部署名	建築都市	局	都市計画	部	都市景観 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—	—	—
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	観光客の受け入れ環境の整備推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—

2	関連計画				
3	事業開始年度	平成 7 年度	点検年度	令和 5 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市公共施設案内サイン整備計画、堺市公共施設案内サイン維持管理計画			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人、物、対象数)	市民 (約83万人)、来訪者
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	公共施設等利用の利便性向上に向けて、公共施設案内サインを適切に管理することにより、市民等の生活利便を向上させる。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・堺市公共施設案内サイン整備計画に基づく秩序ある整備の実施や、堺市公共施設案内サイン維持管理計画に基づく適切な維持管理を行うことにより、市民や来訪者を円滑に市内の公共施設等に誘導できるよう利便性の向上を図る。
9	主な支出先 (委託、補助金・負担金等)	サイン作成業者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	公共施設等利用者を円滑に誘導できる環境管理					
	当該目標を設定した理由	公共施設案内サインを適切に管理することにより、市内の公共施設等に誘導できるようになるため。				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	
	サイン安全点検の実施	基	目標値	47	51	64
			実績値	56	67	
			達成率	119%	131%	
	当該指標を選定した理由	公共施設案内サインの安全点検を実施することにより、安心して利用できるようになるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	設置後の経過年数を考慮し、実施する点検の目標値を設定。				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	公共施設等サイン管理	事業番号	017-009
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	6,088	1,652	1,294	3,482	4,707
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	6,088	1,652	1,294	3,482	4,707

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算	2,950	2,950		R3	予算	50	50
		サイン修繕業務 (維持管理)	R4	予算	1,700	1,700	その他保険料	R4	予算	50	50
			R3	予算	180	180		R3	予算		
		サイン修繕業務 (緊急対応)	R4	予算	180	180		R4	予算		
			R3	予算	300	300		R3	予算		
		施設等修繕料	R4	予算	300	300		R4	予算		
			R3	予算	0	0		R3	予算		
		サイン撤去工事	R4	予算	2,475	2,475		R4	予算		
			R3	予算	2	2		R3	予算		
		消耗品費	R4	予算	2	2		R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	~	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	・点検・修繕等の維持管理を実施
	R4	・点検・修繕等の維持管理を実施
	R5以降	・点検・修繕等の維持管理を実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	平成8～11年に整備され、平成25～28年度に7割程度重点整備を行ったサインを適切に維持管理するために、定期的な点検を計画・実施し、必要に応じて修繕等を行う。また、不要となったサインの撤去を実施する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計			事務事業分類
事務事業名	都心活性化推進事業		G 企画・計画策定・調査研究事業
担当部署名	建築都市	局	都市再生
		事業番号	017-051
		部	都心活性化担当
			課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①多様な人が集う魅力的な都市空間の実現				
			有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3		
			有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—		目標値	—		

2	関連計画	堺グランドデザイン2040、堺市都市計画マスタープラン		
3	事業開始年度	平成 24 年度	終了 (予定) 年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	中心市街地の活性化に関する法律		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、堺市中心市街地活性化協議会
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	都心への来街者(定期利用者を除く堺東駅・堺駅の乗降客数 43,845人/日 2019年度)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	商業・業務等の都市機能の集積や多様な人が安全・快適に過ごせるウォークアブルな空間の形成を推進し、都市魅力の向上を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> 堺東駅周辺地域において、商店街周辺エリアなどにおける市街地更新に向けた検討等を行う。 堺東駅周辺地域において、行政、市民、事業者等の様々な主体の連携により、ウォークアブルな空間の形成に向けた検討等を行う。 市民や地域事業者等が行う中心市街地活性化に資する取組を推進する。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者、堺市中心市街地活性化協議会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 終了(予定)年度 令和7年度
	「堺のまちの中心部はにぎわっていると感じている」と答えた人の割合	%	目標値	70	70	70	70
			実績値	—	—	—	—
			達成率	—	—	—	—
当該指標を選定した理由		当該指標が増えることが当該事業の目的達成に寄与するため					
目標値の設定根拠・算出方法		市民意識評価の指標					

12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	
	市民・事業者等との会議等回数	回	目標値	45	45	45	
			実績値	50	—	—	
			達成率	111%	—	—	
当該指標を選定した理由		当該指標が増えることが当該事業の目的達成に寄与するため					
目標値の設定根拠・算出方法		市民・事業者等と打合せした会議等の回数					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	都心活性化推進事業	事業番号	017-051
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	63,556	64,204	67,314	60,540	44,042
13 財源内訳					
国支出金	19,713	4,242	4,782		
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	43,843	59,962	62,532	60,540	44,042

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目		年度		事業費	うち一般財源	主な項目		年度		事業費	うち一般財源
	年度	事業費	うち一般財源	年度			事業費	うち一般財源				
14	中心市街地活性化関連業務	堺東駅周辺地域活性化関連業務	R3	予算	26,000	26,000	印刷製本費	R3	予算	280	280	
			R4	予算	17,000	17,000		R4	予算	0	0	
		中心市街地活性化関連業務	R3	予算	31,500	31,500	謝礼金	R3	予算	0	0	
			R4	予算	23,500	23,500		R4	予算	153	153	
		中心市街地活性化基本計画関連調査業務	R3	予算	2,000	2,000	費用弁償 (その他)	R3	予算	45	45	
			R4	予算	3,000	3,000		R4	予算	47	47	
	プロポーザル事業者選定委員会委員報酬	R3	予算	306	306	消耗品費	R3	予算	51	51		
		R4	予算	164	164		R4	予算	52	52		
	普通旅費	R3	予算	355	355	研修会等参加負担金	R3	予算	3	3		
		R4	予算	123	123		R4	予算	3	3		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・堺東駅周辺地域活性化に向けた検討 ・中心市街地活性化に資する取組の推進 ・エリアの方針ビジョン (案) の作成
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・堺東駅周辺地域における都市機能強化とウォークアブルな空間の形成に向けた検討 ・中心市街地活性化に資する取組の推進 ・エリアの方針、取組内容を示すビジョンの策定、ウォークアブルな都市空間形成に向けた公民連携の取組
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・堺東駅周辺地域における都市機能強化とウォークアブルな空間の形成に向けた検討 ・中心市街地活性化に資する取組の推進 ・エリアの方針、取組内容を示すビジョンに基づく取組の推進

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・堺東駅周辺地域における都市機能の強化およびウォークアブルな空間の形成やのに向けた検討等及び中心市街地活性化事業等に関する取組を行う。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	都心整備管理事業			事業番号	017-052
担当部署名	建築都市	局	都市再生	部	都心活性化担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立		
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①多様な人が集う魅力的な都市空間の実現				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)				
		寄与するKPI	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)		
2	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを				
		取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進						
		無	現状値	—		目標値	—		
3	事業開始年度	平成 24 年度		点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	中心市街地の活性化に関する法律							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁						
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	都心への来街者(定期利用者を除く堺東駅・堺駅の乗降客数 43,845人/日 2019年度)						
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民の活動や交流の場となるMinaさかい (市民交流広場) の活用の促進や維持管理を行うことで、都市魅力の向上を図る。						
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・Minaさかいの円滑な運営を図り、Minaさかいの更なる活用の検討等を行う。 ・Minaさかいが安全・安心に利用できる環境を形成するため、Minaさかい等の警備や植栽剪定等の維持管理を行う。 ・Minaさかいの整備工事を行う。 						
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者						
10	公民連携・協働事業							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 Minaさかい利用回数	回	目標値	250	250	210	250		
		実績値	210					
		達成率	84%					
		当該指標を選定した理由	Minaさかいを利用してもらうことが都心の活性化に寄与するため					
目標値の設定根拠・算出方法		Minaさかい利用回数 (有料、無料)						
12 Minaさかいの整備の完了	-	実績	実績見込み		目標			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度				
		目標値	市役所前広場 (第2工区) 設計	市役所前広場 (第2工区) 工事着手	市役所前広場 (第2工区) 工事完了			
		実績値	市役所前広場 (第2工区) 設計					
達成率		#VALUE!						
当該指標を選定した理由		Minaさかいの整備事業の完了が都心の活性化に寄与するため						
目標値の設定根拠・算出方法		Minaさかいの整備事業の進捗状況						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	都心整備管理事業	事業番号	017-052
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	23,994	34,153	29,821	124,847	49,687
13 財 源 内 訳	国支出金					
	府支出金					
	市債	4,500	3,500		72,300	
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	544	402	503	300	300
	一般財源	18,950	30,251	29,318	52,247	49,387

事業費の内訳		(単位：千円)								
	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事 業 費 内 訳	市民交流広場等維持管理業務	R3	予算	32,183	31,883		R3	予算		
		R4	予算	25,687	25,387		R4	予算		
	市民交流広場等整備事業	R3	予算	92,547	20,247		R3	予算		
		R4	予算	24,000	24,000		R4	予算		
	プロポーザル事業者選定委員会委員報酬	R3	予算	102	102		R3	予算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
	費用弁償 (その他)	R3	予算	15	15		R3	予算		
		R4	予算	0	0		R4	予算		
			R3	予算			R3	予算		
			R4	予算			R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)	
15	期間		要求額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・合同庁舎前市民交流広場整備、市役所前市民交流広場 (第1工区、第2工区) ・瓦町18号線道路拡幅工事 ・市民交流広場の活用促進
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所前市民交流広場整備工事 (第2工区) ・市民交流広場の活用促進
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・市民交流広場の活用促進

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の活動や交流の場となるMinaさかい (市民交流広場) の維持管理を行う。 ・堺保健センター等工事に使用されていたMinaさかい (市役所前) の一部を整備する。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他
一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	臨海部整備推進事業	事業番号	017-055
担当部署名	建築都市 局 都市再生 部	ペイエリア推進担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~ 施策 (3)人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立							
		有	取組の方向性	③ペイエリアとの連携								
	寄与するKPI	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)								
		有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)						
堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを					ターゲット	11.3		
		有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進								
	寄与するKPI	有・無	指標名	-								
		無	現状値	-			目標値	-				
2	関連計画		堺臨海部再生・創造ビジョン									
3	事業開始年度			平成 21 年度			点検年度		令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)		港湾法									

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)		本庁								
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)		対象者：親水空間及び海浜を利用する市民及び市外からの来訪者 対象地域：堺浜周辺								
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)		堺臨海部再生・創造ビジョンに示した、水質の改善による大阪湾の再生と環境負荷の軽減により、良好な生態系を生み出し、海辺の環境改善を図る。さらに、自然環境の再生を進めることで、砂浜などに集まった人々の交流を拡大させ、賑わいを創出し、人や生き物、環境に優しい魅力あふれる親水空間を提供する。								
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載		<ul style="list-style-type: none"> ・堺浜における海辺の環境改善や賑わいの創出に向け、砂浜を造成・維持し、その水質浄化や自然回復の能力を検証する。また、砂浜の清掃、安全確認を行う。 ・防災緑地と一体的に管理している海とのふれあい広場において、施設の改修などを行う。 								
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)		委託業者								
10	公民連携・協働事業		企業等との協働による清掃活動								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	種	実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和3年度	令和4年度	令和4年度	令和7年度
11 生物観測数	種	種	目標値	36	38	38	38	38
			実績値	38	38	38	38	38
			達成率	106%	100%	100%	100%	100%
			当該指標を選定した理由		水質浄化方策実証実験により、生物多様性が増大する効果を測ることができるため。			
目標値の設定根拠・算出方法		モニタリング調査						
12 事故発生件数	件	件	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0	0	0
			達成率	100%	100%	100%	100%	100%
			当該指標を選定した理由		所管施設の維持管理・保守点検の効果を測ることができるため。			
目標値の設定根拠・算出方法		賠償責任保険適用件数						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	臨海部整備推進事業	事業番号	017-055
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	14,259	8,450	14,678	11,196	11,586
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 (事業負担金)	1,966				
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	12,293	8,450	14,678	11,196	11,586

事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R3	予算	事業費	うち 一般財源		R3	予算	事業費	うち 一般財源				
		水質調査業務	R3	予算	6,311	6,311	手数料	R3	予算	169	169				
			R4	予算	6,311	6,311		R4	予算	266	266				
		ふれあいビーチ維持管理	R3	予算	1,506	1,506		R3	予算						
			R4	予算	1,801	1,801		R4	予算						
		養浜工事	R3	予算	2,500	2,500		R3	予算						
			R4	予算	2,500	2,500		R4	予算						
		産業廃棄物処理業務	R3	予算	636	636		R3	予算						
			R4	予算	636	636		R4	予算						
		光熱水費	R3	予算	74	74		R3	予算						
			R4	予算	72	72		R4	予算						

債務負担行為		(単位：千円)	
15	期 間	要 求 額	

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜周辺整備 ・環境モニタリング ・海とのふれあい広場施設修繕・改修
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜周辺整備 ・環境モニタリング ・海とのふれあい広場施設修繕・改修
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・海浜周辺整備 ・環境モニタリング ・海とのふれあい広場施設修繕・改修

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・堺浜自然再生ふれあいビーチにおいて、市民が安全、快適に海や生き物に触れることができる海浜の保全、管理を行う。 ・海とのふれあい広場では、安全・快適性・利便性向上のために必要な施設の改修等を行う。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	臨海部整備推進事業管理経費	
担当部署名	建築都市 局	都市再生 部
	事業番号	017-056
	課	ベイエリア推進担当

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連 有・無	有	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~		施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立		
			有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携					
		堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連 有・無	有	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)				
	有			現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)			
	寄与するKPI		有	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3		
		無	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進						
		有・無	指標名	—						
		無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画	堺臨海部再生・創造ビジョン								
3	事業開始年度	平成 12 年度			点検年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	港湾法								

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	対象者：親水空間及び海浜を利用する市民及び市外からの来訪者 対象地域：海とのふれあい広場、堺旧港親水性護岸							
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	海とのふれあい広場及び堺旧港親水性護岸の維持管理により、快適な水辺空間を市民に提供する。 海とのふれあい広場：大阪湾の景観を背景に楽しめる自然豊かな緑地、バーベキューや海釣り、ドッグランなどのレクリエーションの場の提供 堺旧港親水性護岸：市街地から気軽に、快適に海の風景を楽しみながら旧堺燈台や堺旧港を周遊できる親水空間の提供							
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・管理施設である「海とのふれあい広場」及び「堺旧港親水性護岸」において、市民に海辺の憩いの場を提供するため、除草・清掃・修繕・警備等の維持管理・保守点検を実施する。							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者							
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 点検年度 令和7年度
	親水空間の面積	ha	目標値	32	32	32
			実績値	31	31	32
			達成率	97%	97%	100%
	当該指標を選定した理由	海辺において、市民が憩うことのできる親水空間の提供状況を示すものであるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	当課管理の親水空間の面積				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 点検年度 令和7年度
	事故発生件数	件	目標値	0	0	0
			実績値	0	0	0
			達成率	100%	100%	100%
	当該指標を選定した理由	所管施設の維持管理・保守点検の効果を測ることができるため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	賠償責任保険適用件数				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	臨海部整備推進事業管理経費	事業番号	017-056
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
		事業費 (a)	16,374	15,549	16,134	28,272	28,201
		国支出金					
		府支出金					
		市債					
		その他 (光熱水費等及び事業負担金)	7,774	7,988	6,749	9,185	9,173
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	8,600	7,561	9,385	19,087	19,028

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R	予	算			R	予	算	
		海ふれ広場維持管理	R3	予	17,389	8,312	使用料及び賃借料	R3	予	85	85
			R4	予	17,368	8,291		R4	予	85	85
		親水性護岸管理業務	R3	予	7,194	7,194	消耗品費	R3	予	100	100
			R4	予	7,194	7,194		R4	予	100	100
		光熱水費	R3	予	1,824	1,716					
			R4	予	1,764	1,668					
		修繕料	R3	予	1,550	1,550					
			R4	予	1,550	1,550					
		保険料及び手数料	R3	予	130	130					
			R4	予	140	140					

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・海とのふれあい広場と堺泉北港堺2区先端緑地の一体管理 ・堺旧港親水性護岸南側等の日常管理
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・海とのふれあい広場と堺泉北港堺2区先端緑地の一体管理 ・堺旧港の北側航路部分を含めた日常管理
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・海とのふれあい広場と堺泉北港堺2区先端緑地の一体管理 ・堺旧港護岸全体の日常管理

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・海とのふれあい広場と堺泉北港堺2区先端緑地の一般的な日常管理を行う。 ・堺旧港親水性護岸の日常管理を行う。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計		要求区分	その他
事務事業名	臨海部活性化推進事業（ベイエリア）	事務事業分類	A 一般事務事業
担当部署名	建築都市 局 都市再生 部	事業番号	017-057
			ベイエリア推進担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	有	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
		寄与するKPI	有・無	有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	有	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）			
		寄与するKPI	有・無	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)	
2	関連計画	施策との関連	有・無	有	ゴール	ゴール(山)住み続けられるまちづくりを			
		寄与するKPI	有・無	有	取組	堺ランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進			
3	事業開始年度	平成 23 年度			点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	都市計画法、中心市街地活性化法							
事業の概要									
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	対象者：臨海部を訪れる市民及び市外からの来訪者 対象地域：堺旧港、堺第7-3区、その他の臨海部							
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	堺ランドデザイン2040に示す将来イメージの実現、大阪広域ベイエリアまちづくりビジョンの推進に向け、堺駅・堺旧港や堺浜の活性化、魅力創出に向けた取り組みを進め、立地特性を活かした賑わい・憩いととも魅力ある海辺空間、交流拠点の形成を図る。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p><大阪広域ベイエリアまちづくり></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪府、大阪市と連携のもと、大阪広域ベイエリア全体の活性化に向けた、将来像や取組の方向性等示す大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）の取組を推進する。 <p><堺旧港></p> <ul style="list-style-type: none"> ・堺旧港親水性護岸後背地への交流機能の導入など、堺駅・堺旧港周辺の活性化に向けたコンセプトや取組の方向性等を示す大阪広域ベイエリアまちづくりにおける、堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン（案）の取組を推進する。 							
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	委託業者							
10	公民連携・協働事業								

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	ベイエリアの活性化					
	当該目標を設定した理由	ベイエリアの活性化が目的達成に寄与するため				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度
	大阪広域ベイエリアまちづくりの推進		目標値	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン中間とりまとめ	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）とりまとめ	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョンの策定
			実績値	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン中間とりまとめ	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン（案）とりまとめ	
			達成率	100%	100%	
	当該指標を選定した理由	大阪及び堺のベイエリアの活性化に向けた取組を推進するもの				
	目標値の設定根拠・算出方法	大阪広域ベイエリアまちづくりビジョン作成状況				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	臨海部活性化推進事業 (ベイエリア)	事業番号	017-057
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)								
項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度					
	決算	決算	決算	予算	予算要求					
事業費 (a)	12,901	2,561	12,056	21,200	21,249					
13 財源内訳	国支出金									
	府支出金									
	市債									
	その他 ()									
	受益者負担金(使用料、手数料等)									
	一般財源	12,901	2,561	12,056	21,200	21,249				
事業費の内訳		(単位：千円)								
14 事業費内訳	主な項目	年度	事業費	うち一般財源	主な項目	年度	事業費	うち一般財源		
	ベイエリア活性化推進業務	R3	予算	21,000	21,000	印刷製本費	R3	予算	25	25
		R4	予算	18,000	18,000		R4	予算	0	0
	附属機関報酬	R3	予算	102	102	公共用地確定測量業務	R3	予算	0	0
		R4	予算	184	184		R4	予算	3,000	3,000
	旅費	R3	予算	35	35		R3	予算		
		R4	予算	31	31		R4	予算		
	費用弁償	R3	予算	30	30		R3	予算		
		R4	予算	27	27		R4	予算		
	消耗品費	R3	予算	8	8		R3	予算		
		R4	予算	7	7		R4	予算		
	債務負担行為		(単位：千円)							
15	期間	R ~ R		要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開	
16 R3まで	堺旧港周辺及び堺浜の活性化の検討、推進 大阪ベイエリアまちづくりビジョン (案) とりまとめ
R4	堺旧港における交流空間の形成及び堺浜の活性化の検討、推進 大阪広域ベイエリアまちづくりビジョンの策定
R5以降	堺旧港における交流空間の形成及び堺浜の活性化の検討、推進 大阪広域ベイエリアまちづくりビジョンの取組・推進

Ⅴ. 要求のポイント

17 要求のポイント	・大阪広域ベイエリアまちづくりにおける、堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン (案) に基づき、堺旧港親水性護岸とその後背地との一体的な利活用による交流機能の導入等に向けた事業検討とともに、エリアの可能性等の見える化や民間、地域、将来のエリアマネジメント促進に向けた機運醸成を図るための社会実験を実施する。
------------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	環濠都市堺の再生事業			事業番号	017-063
担当部署名	建築都市局	局	都市再生部	部	堺駅エリア整備担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(2) 環濠エリア・堺旧港の魅力の創出
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤ウォーカブルな人中心の空間形成		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	環濠エリアへの来訪者数		
		寄与するKPI	有	現状値	182.6万人(2019年度)	目標値	300.0万人(2025年度)
		有・無	ゴール	ゴール(住み続けられるまちづくりを)	ターゲット	11.3	
		有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進			
		有・無	指標名	-			
		無	現状値	-	目標値	-	

2	関連計画			
3	事業開始年度	平成 24 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民、来堺者 (182.6万人 (2019年度))
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	かつて環濠都市であった旧市街地エリア (環濠エリア) において、歴史・文化資源等を活かした都市魅力の向上や賑わいの創出により認知度を高め、市民が「愛着」や「誇り」を醸成し、交流人口・定住人口の増加をめざす。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・環濠エリアの魅力向上や堺グランドデザイン2040の実現に向けたエリアの方針、取組内容を示すビジョンを策定し、ウォーカブルな都市空間形成に向けた公民連携の取組を進める。 ・堺環濠町づくり推進協議会 (環濠茶論) を支援し、SNSの活用など環濠エリアに係る積極的な情報発信等を実施する。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託業者、堺環濠町づくり推進協議会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
11 まち歩きイベント等への参加者数	人	目標値	100	100	130	200
		実績値	0	100		
		達成率	0%	100%		
当該指標を選定した理由		環濠エリアへの来訪者数を増やすため				
目標値の設定根拠・算出方法		イベント参加者数や賞品プレゼントへの応募者数等				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
12 Instagramで発信した情報の「延べリーチ数」	-	目標値	25,000	25,000	25,000	
		実績値	8,282	12,500		
		達成率	33%	50%		
当該指標を選定した理由		環濠の認知度を高めるため				
目標値の設定根拠・算出方法		「環濠茶論」公式Instagramのデータより算出				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	環濠都市堺の再生事業	事業番号	017-063
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト (単位：千円)																			
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度								
			決算		決算		決算		予算		予算要求								
事業費 (a)			6,860		6,934		3,988		3,233		12,179								
国支出金			2,430		1,925		1,917												
府支出金																			
市債																			
その他 ()																			
受益者負担金(使用料、手数料等)																			
一般財源			4,430		5,009		2,071		3,233		12,179								
事業費の内訳 (単位：千円)																			
14	事 業 費 内 訳	主な項目		年度		事業費		うち 一般財源		主な項目		年度		事業費		うち 一般財源			
		プロポーザル委託業務事業者選定 委員会委員報酬		R3	予算	102	102	(仮称) 堺環濠エリア魅力創出ビ ジョン策定支援業務		R3	予算	1,000	1,000	堺環濠エリア活性化推進検討業 務		R3	予算	-	-
				R4	予算	82	82			R4	予算	0	0						
		普通旅費		R3	予算	76	76	協議会負担金		R3	予算	2,000	2,000			R3	予算		
				R4	予算	76	76			R4	予算	2,000	2,000			R4	予算		
		費用弁償 (その他)		R3	予算	15	15			R3	予算					R3	予算		
				R4	予算	12	12			R4	予算					R4	予算		
		印刷製本費		R3	予算	30	30			R3	予算					R3	予算		
				R4	予算	9	9			R4	予算					R4	予算		
		内川河川敷改良詳細設計業務		R3	予算	3,834	1,917			R3	予算					R3	予算		
R4	予算			0	0	R4	予算					R4	予算						
債務負担行為 (単位：千円)																			
15	期間		R ~ R				要求額												

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した情報発信 ・イベント等の開催 ・エリアの方針ビジョン (案) の作成
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる認知度向上への取組 ・エリアの方針、取組内容を示すビジョンの策定、ウォーカブルな都市空間形成に向けた公民連携の取組
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・更なる認知度向上への取組 ・エリアの方針、取組内容を示すビジョンに基づく取組の推進

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p><市事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウォーカブルな都市空間形成に向けた公民連携の取組を行う。 <p><協議会事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS等を活用した情報発信、イベントの開催等を行う。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	臨海部活性化推進事業（大浜北町市有地活用事業）		事業番号	017-065
担当部署名	建築都市局	局	都市再生部	部
			堺駅エリア整備担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③ベイエリアとの連携			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数（定期利用者を除く）			
		寄与するKPI	有	現状値	43,835人/日(合計)(2019年度)	目標値	45,000人/日(合計)(2025年度)	
2	関連計画	施策との関連	有	ゴール	ゴール①住み続けられるまちづくりを			
		取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進					
3	事業開始年度	施策との関連	有・無	指標名	—			
		取組	—					
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	施策との関連	有	取組	堺臨海部再生・創造ビジョン（H24.7）、堺市中心市街地活性化基本計画（H27.4）			
		取組	—					
5	事業開始年度	施策との関連	有	取組	平成 23 年度	終了（予定）年度	令和 7 年度	
		取組	—					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	臨海部を訪れる市民及び市外からの来訪者（定期利用者を除く堺東駅・堺駅の乗降客数 43,845人/日 2019年度）
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	都心地域で市民・来訪者が気軽に海に触れ、みなとや歴史文化の香りを味わうことができる賑わい空間の形成をめざす。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	・大浜北町市有地活用事業の事業化に向けた取組の推進
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	民間事業者
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	大浜北町市有地の活用事業の完了					
	当該目標を設定した理由	大浜北町市有地活用事業の完了が目的達成に寄与するため。				
	目標に対する実績					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み	目標	
	公共施設整備の完了		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		目標値	工事着手	工事着手	工事完了予定	
		実績値	覚書締結	覚書締結		
達成率	-	-				
当該指標を選定した理由		公共施設整備完了が目的達成に寄与するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		公共施設整備の進捗状況				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	臨海部活性化推進事業 (大浜北町市有地活用事業)	事業番号	017-065
-------	--------------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト (単位: 千円)															
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度				
			決算		決算		決算		予算		予算要求				
事業費 (a)			47		70,927		47		754,000		391,480				
国支出金									192,000		74,280				
府支出金															
市債					48,500				469,200		257,800				
その他 ()					6,119										
受益者負担金(使用料、手数料等)															
一般財源			47		16,308		47		92,800		59,400				
事業費の内訳 (単位: 千円)															
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
			R3	予算			R3	予算				R3	予算		
		調査業務		R3	予算	3,300	3,300	不動産鑑定手数料		R3	予算	380	380		
				R4	予算	4,200	4,200			R4	予算	380	380		
		電柱移設工事負担金		R3	予算	2,400	2,400	ふるさと融資 (地域総合整備資金 貸付)		R3	予算	210,000	0		
				R4	予算	2,400	2,400			R4	予算	0	0		
		ガス移設負担金		R3	予算	10,000	10,000	エリアマネジメント支援業務		R3	予算	10,000	10,000		
				R4	予算	0	0			R4	予算	0	0		
		水道管撤去負担金		R3	予算	20,000	20,000	旅費		R3	予算	35	35		
				R4	予算	17,480	17,480			R4	予算	4	4		
		大浜北町市有地活用事業刻教 施設等工事負担金		R3	予算	497,853	46,653	その他 (消耗品等)		R3	予算	32	32		
				R4	予算	367,000	34,920			R4	予算	16	16		
		債務負担行為 (単位: 千円)													
		15	期間						要求額						

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	・大浜北町市有地活用事業の推進
	R4	・大浜北町市有地活用事業の推進
	R5以降	・工事完了予定

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	・堺旧港周辺活性化の核となる大浜北町市有地活用に向けて、公共施設等の整備を行う。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

		要求区分	その他	
一般会計			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	泉北高速鉄道通学費負担軽減事業		事業番号	017-011
担当部署名	建築都市	局	交通	部
				交通政策担当
				課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	①多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
	関連計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
		寄与するKPI	有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進			
	事業開始年度	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—		
2	事業開始年度	平成 28 年度	終了(予定)年度	令和 4 年度				
3	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市泉北高速鉄道等通学費補助金交付要綱						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市に住居登録をしている満25歳までの方で、泉北高速鉄道と南海電鉄高野線を乗り継いで利用し、生活保護費(通学定期代)を受給していない方。157,368人(6~25歳の堺市民:令和2年度末現在)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	泉北高速鉄道及び南海電鉄高野線を乗り継いで通学している堺市民に対し、通学定期運賃の一部を補助することにより、当該通学定期運賃の負担軽減を図り、泉北ニュータウン等への子育て世代の定住・誘導を促すこと等を目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	泉北高速鉄道・南海電鉄高野線を乗り継いだ場合の通学定期運賃経費に対して、1日48円(10円未満切り捨て・小児運賃は半額)の補助を行う。申請受付後、補助要件の審査を行い適正な補助金の交付を行う。
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	制度を利用する市民、システム保守会社等
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度		
						令和2年度	令和3年度
11 申請人数	人	目標値	1,351	1,326	1,326	1,326	
		実績値	1,263	1,152			
		達成率	93%	87%			
		当該指標を選定した理由	泉北高速鉄道沿線を利用している通学定期運賃の負担軽減者数を把握するため				
目標値の設定根拠・算出方法	令和3,4年度とも令和2年度、申請人数の概ね5%増を想定						
12 活動指標(成果を上げるための手段) 制度の周知(周知広報等の活動回数)	回	実績	令和2年度	実績見込み	令和3年度	目標	令和4年度
		目標値	10	10	10		
		実績値	10	10			
		達成率	100%	100%			
当該指標を選定した理由	市内外の泉北高速鉄道利用者に適切な制度の周知活動を行うことで、業務の効率化につながると考えるため						
目標値の設定根拠・算出方法	前年度、周知広報回数と同数を想定						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	泉北高速鉄道通学費負担軽減事業	事業番号	017-011
-------	-----------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)	19,617	20,885	19,553	29,734	16,512
13 財源内訳					
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	19,617	20,885	19,553	29,734	16,512

事業費の内訳

(単位：千円)

主な項目	年度		事業費		うち一般財源	主な項目	年度		事業費		うち一般財源
	R3	予算	26,105	26,105			R3	予算			
堺市泉北高速鉄道等通学費補助金	R3	予算	26,105	26,105			R3	予算			
	R4	予算	15,550	15,550			R4	予算			
泉北高速鉄道通学経費補助に関するシステム運用保守改修等委託料	R3	予算	2,431	2,431			R3	予算			
	R4	予算	495	495			R4	予算			
その他	R3	予算	1,198	1,198			R3	予算			
	R4	予算	467	467			R4	予算			
	R3	予算					R3	予算			
	R4	予算					R4	予算			
	R3	予算					R3	予算			
	R4	予算					R4	予算			

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> 申請の受付、審査、補助金交付（平成29年1月補助制度開始） 周知広報活動、制度・手続きの検証 「財政危機脱却プラン」の取組として、令和4年度以降の定期利用分の申請受付を停止
	R4	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度の定期利用について、申請の受付（令和5年1月末まで）、審査、補助金交付 周知広報活動
	R5以降	制度廃止

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>「財政危機脱却プラン」の取組として、令和4年度以降の定期利用分の申請受付を停止する。</p> <p>令和4年度は、令和3年度の定期利用については令和5年1月末まで申請を受け付けるため、所要の予算を要求するもの。</p>
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	路面電車活性化事業			事業番号	017-013
担当部署名	建築都市	局	交通	部	交通政策担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2	
		寄与するKPI	有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
		施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画					
3	事業開始年度	平成 16 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金交付要綱 堺市路面電車施設高度化事業費補助金交付要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	阪堺電気軌道 (株)
6	事業の対象 (対象とする人、対象数)	阪堺線沿線住民や通勤・通学者、来街者などの阪堺線利用者。6,019,802人 (令和2年度年間利用統計者数)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	阪堺線堺市内区間の軌道施設の改善等が実施されることにより、保安度の向上を図る。 設備の高度化を促すことにより、利用者の利便性向上に取り組むことで阪堺線利用者数の増加を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	阪堺電気軌道 (株) に対し、阪堺線の軌道施設の改修や施設の高度化等のための経費を補助する ・堺市鉄道軌道安全輸送設備等整備事業費補助金 (施設の老朽化対策) ・堺市路面電車施設高度化事業費補助金 (停留場改修等施設の高度化)
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	阪堺電気軌道 (株)
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11 阪堺線・上町線の年間利用推計者数	人	目標値	8,525,305	7,281,449	8,070,499			
		実績値	6,019,802	5,685,442				
		達成率	71%	78%				
当該指標を選定した理由		当事業の目的である「阪堺線利用者数の増加」を成果指標とする						
目標値の設定根拠・算出方法		新型コロナウイルスの影響を考慮しR1年度比でR3年度90%、R4年度を100%とし、以降年1%増を想定						
活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度			
12 老朽化対策実施箇所	か所	目標値	6	2	2			
		実績値	6	2				
		達成率	100%	100%				
当該指標を選定した理由		老朽化対策を実施することで阪堺線の安定的な運行に繋がり、市民の移動を確保することができるため						
目標値の設定根拠・算出方法		要対策箇所より算出						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	路面電車活性化事業	事業番号	017-013
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	303,729	309,178	190,229	54,110	18,633
13 財 源 内 訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 (寄付金)		9,400			1,000
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	303,729	299,778	190,229	54,110	17,633

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源
		R	予	算	費			R	予	算	費	
14 事 業 費 内 訳	鉄道軌道安全輸送設備等整備 事業費補助金	R3	予	算	45,000	45,000		R3	予	算		
		R4	予	算	8,259	8,259		R4	予	算		
	路面電車施設高度化事業費補 助金	R3	予	算	0	0		R3	予	算		
		R4	予	算	1,000	0		R4	予	算		
	阪堺線利用状況調査等委託料	R3	予	算	9,000	9,000		R3	予	算		
		R4	予	算	9,264	9,264		R4	予	算		
	廃棄物処理・運搬等委託料	R3	予	算	100	100		R3	予	算		
		R4	予	算	100	100		R4	予	算		
	その他保険料 (枠)	R3	予	算	10	10		R3	予	算		
		R4	予	算	10	10		R4	予	算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・阪堺線支援策の実施（平成22年10月～令和2年9月）：低床式車両導入、停留場新設、停留場改修、軌道改修等 ・支援策完了後（令和2年10月～）：軌道改修への補助等を引き続き実施
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・軌道改修への補助等
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・軌道改修への補助等を引き続き実施 ・計画的に導入する旧型車両から低床式車両への入れ替えに対する補助を実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度は、老朽化対策として運行上の重要な拠点である我孫子道車庫の分岐器更新・遮断機更新（国との協調補助）等に要する費用を要求する
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共交通利用促進事業 (交通政策担当)	事業番号
担当部署名	建築都市 局 交通 部	017-014
		交通政策担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
			有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
			有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		

2	関連計画					
3	事業開始年度	平成 26 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市おでかけ応援利用者証条例				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	65歳以上の堺市民。234,314人 (令和3年度9月末現在)				
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に公共交通利用者が減少する中、公共交通の利用促進及び維持・活性化する。また、高齢者の社会参加の促進を図ることを目的とする。 ・ICカードにより利用資格及び利用状況の適正管理を図ることで制度を維持することを目的とする。 				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・「おでかけ応援カード」(ICカード)を使うことにより阪堺電車を1乗車100円で利用できる ・申請書兼納付書を対象者に送付し、納付者に対してカードを作成し送付する ・毎日の住民基本台帳との照合により、利用資格の適正管理を行う ・カード発行事務に係る窓口業務及び電話対応を行う ・ICカード発行システムの運用、改良及び保守を行う 				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	阪堺電気軌道 (株)、カード発行業者				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検年度
11 おでかけ応援カードの保有率 (ICカード移行後)	%	目標値	69	70	71	71
		実績値	70	70		
		達成率	101%	100%		
当該指標を選定した理由		制度目的 (公共交通の利用促進及び維持・活性化、高齢者の社会参加の促進) の実現につながるため				
目標値の設定根拠・算出方法		(前年度3月末時点のおでかけ応援カードの保有者数) ÷ (前年度3月末時点の65歳以上の人口)				
12 新規対象者に対する周知件数	件	実績	令和2年度	令和3年度	目標	令和4年度
		実績見込み				
		実績値	9,965	7,066		
		達成率	101%	74%		
当該指標を選定した理由		制度の目的及びカード発行方法を周知し、広く制度を活用いただくことで、事業目的の実現につながるため				
目標値の設定根拠・算出方法		新規対象者に対して周知を行った件数				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	公共交通利用促進事業（交通政策担当）	事業番号	017-014
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	11,479	23,349	79,102	93,550	93,449
13 財 源 内 訳	国支出金			15,683		
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)	11,449	11,413	8,874	12,600	12,600
	一般財源	30	11,936	54,545	80,950	80,849

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
14 事 業 費 内 訳	阪堺電車おでかけ応援事業等負担金	R3	予算	71,000	71,000	印刷製本費 (枠)	R3	予算	627	627
		R4	予算	71,000	71,000		R4	予算	459	459
	おでかけ応援ICカード発行等委託料	R3	予算	13,242	4,520	その他使用料及び賃借料 (IT経費) (枠)	R3	予算	50	50
		R4	予算	13,309	4,180		R4	予算	50	50
	通信運搬費 (枠)	R3	予算	5,891	2,013		R3	予算		
		R4	予算	5,891	2,420		R4	予算		
	おでかけ応援ICカード申請書印刷 発送準備等委託料	R3	予算	1,750	1,750		R3	予算		
		R4	予算	1,750	1,750		R4	予算		
	おでかけ応援ICカード管理システム 運用保守等委託料 (IT経費)	R3	予算	990	990		R3	予算		
		R4	予算	990	990		R4	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R4 ~ R6	要求額	25,000
----	----	---------	-----	--------

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・阪堺電車おでかけ応援事業等の実施 ・新規対象者を中心としたICカードの交付、周知広報活動
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・阪堺電車おでかけ応援事業等の実施 ・新規対象者を中心としたICカードの交付、周知広報活動
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ・阪堺電車おでかけ応援事業等の実施 ・新規対象者を中心としたICカードの交付、周知広報活動

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、公共交通機関の維持・活性化のため、市内の他の公共交通事業者（南海バス、近鉄バス）と同様の利用促進策等が必要となることから、阪堺電車に対しておでかけ応援制度やゾーンチケット事業を実施する。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	公共交通利用促進事業 (公共交通担当)			事業番号	017-018
担当部署名	建築都市	局	交通	部	公共交通担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
		有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.3	
		有	取組	地域住民のつながり強化、住民自治の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画							
3	事業開始年度			平成 4 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等) 堺市公共交通利用促進事業 (おでかけ応援バス) 実施要領 堺市バス利用促進総合対策事業補助金交付要綱							

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人、物、対象数)	市民・路線バス利用者 (おでかけ応援バス対象者数: 65歳以上の堺市民234,314人 (令和3年9月末))
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	バスの利用促進や利便性向上につながる取り組みを実施することにより、バス交通の維持・活性化を図ることを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<p>1. おでかけ応援バス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・満65歳以上の市民が路線バス (南海バス・近鉄バス) を1乗車100円で利用できるおでかけ応援バスを実施 <p>2. バス利用促進等総合対策事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バス事業者が行うノンステップバスの導入など、公共交通の利便性の向上や利用促進につながる取り組みに対して補助を実施 (令和2年度は地方創生臨時交付金を活用し、7両の補助を実施) <p>3. 地域における利用促進等の取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農芸高校と美原高校の新入生向けのバス通学案内「バス通学のすすめ」を配布 ・バスの路線図や乗り方等を掲載した「バスの乗り方ガイド」を区役所の市政情報コーナー等で配布 ・美原区内の公共施設、民間施設等でバスロケーションシステムの紹介チラシを掲示 <p>4. 堺市駅ロータリー関連工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨海部への利用者の増加に伴い、公共交通の利用を促進するため、堺市駅前のロータリー改修工事を実施
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	南海バス株式会社、近鉄バス株式会社
10	公民連携・協働事業	—

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
11 おでかけ応援バスの延べ年間利用者数	人	目標値	5,844,070	4,609,295	4,550,000	5,724,000
		実績値	4,609,295	4,550,000		
		達成率	79%	99%		
当該指標を選定した理由		延べ利用者数が高齢者のバスの利用状況及び外出状況を把握できることから成果指標とする。				
目標値の設定根拠・算出方法		コロナ禍によるバス利用者の減少を考慮し、前年度実績と同水準の利用者数。点検年度については、コロナ禍前 (令和元年度) の利用者数				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
12 ノンステップバスの導入率	%	目標値	40	48	48	
		実績値	47	47		
		達成率	119%	99%		
当該指標を選定した理由		すべての人が利用しやすいノンステップバスの導入率を上げることで利便性向上を図ることができ、利用促進につながる。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年度のノンステップバスの保有台数とバス事業者の導入予定台数を元に算出				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	公共交通利用促進事業（公共交通担当）	事業番号	017-018
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
	411,887	433,784	349,986	457,559	464,644
13 財源内訳					
国支出金					
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	411,887	433,784	349,986	457,559	464,644

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費		主な項目	年度		事業費	
		R3	予算	うち一般財源	R3		予算	R3	予算	うち一般財源
14	おでかけ応援バス事業負担金	R3	予算	457,092	457,092	堺市駅ロータリー関連工事	R3	予算	0	0
		R4	予算	463,017	463,017		R4	予算	1,000	1,000
	バス利用促進等総合対策事業補助金	R3	予算	50	50		R3	予算		
		R4	予算	300	300		R4	予算		
	消耗品費	R3	予算	4	4		R3	予算		
		R4	予算	2	2		R4	予算		
	印刷製本費	R3	予算	408	408		R3	予算		
		R4	予算	320	320		R4	予算		
	通信運搬費	R3	予算	5	5		R3	予算		
		R4	予算	5	5		R4	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・H16年度 おでかけ応援バス事業開始 ・H4年度 バス利用促進等総合対策事業開始（ノンステップバス、バスロケーションシステム等の導入に対して補助） ・H22年度 地域における利用促進等の取組みを開始
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ・おでかけ応援バス事業の継続実施 ・ノンステップバスの導入補助の継続実施 ・地域における利用促進等の取組みの継続実施 ・堺市駅ロータリー関連工事の実施
	R5以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・おでかけ応援バスに対する負担金見込額を要求 ・ノンステップバス導入に対する補助金見込額を要求 ・地域における利用促進のための印刷物等に係る費用を要求 ・臨海部への利用者の増加に伴い、公共交通の利用を促進するため、堺市駅ロータリー関連工事に係る費用を要求
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計			要求区分	その他
			事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	バス運行事業 (堺市乗合タクシー運行事業)		事業番号	017-022
担当部署名	建築都市	局	交通	部
				公共交通担当
課				

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	5.強くしなやかな都市基盤 ~Resilient~	施策	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築	
		有	取組の方向性	⑤生活基盤としての公共交通の維持確保				
		寄与するKPI	有・無	指標名	-			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2	
		有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化				
		寄与するKPI	有・無	指標名	-			
		無	現状値	-	目標値	-		
2	関連計画	-						
3	事業開始年度	平成 25 年度		点検年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市乗合タクシー運行事業実施要綱、堺市乗合タクシー運行事業実施要領						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁					
6	事業の対象 (対象とする人、物、対象数)	公共交通空白地域の住民ほか (令和2年度年間利用者数 17,340人)					
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	鉄道駅やバス停から離れた既存の公共交通が利用しにくい公共交通空白地域における住民の日常生活を支援する公共交通手段の確保。					
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	鉄道駅等と公共交通空白地域を結ぶ市内9ルートにおいて、あらかじめ決められた運行ルート、停留所、時刻表に沿って、利用者から予約があった場合のみ運行する。運行日は毎日。運行頻度は一日5便。運賃は大人300円、小人150円、おでかけ応援カード利用者は100円。					
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	-					
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	-					
9	主な支出先 (委託、補助金・負担金等)	大阪第一交通株式会社					
10	公民連携・協働事業	-					

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み	目標	目標	点検年度	
							令和2年度
11 1台当たりの平均乗車人数	人/台	目標値	1.9	1.7	1.6	1.9	
		実績値	1.6	1.5			
		達成率	84%	88%			
		当該指標を選定した理由	効率的な運行を示す成果指標として適切であるため。				
目標値の設定根拠・算出方法	前年度の実績に0.1人/台を加算した値。点検年度については、コロナ禍前(令和元年度)の平均乗車人数を目標値とする。						
12 地域公共交通会議の開催数	回	実績	令和2年度	実績見込み	令和3年度	目標	令和4年度
		目標値	-	2	2		
		実績値	2	2			
		達成率	-	100%			
当該指標を選定した理由	地域公共交通会議では、各年度の現状を踏まえ、乗合率(1台当たりの平均乗車人数)の向上等、効率的な運行に向けた意見交換を行い運行内容の見直しを図っているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	開催予定の会議の数(指標を新たに設定)						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	バス運行事業 (堺市乗合タクシー運行事業)	事業番号	017-022
-------	-----------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)				
	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	34,621	35,493	29,999	43,592	43,470
13 財 源 内 訳	国支出金					
	府支出金					
	市債					
	その他 ()					
	受益者負担金(使用料、手数料等)					
	一般財源	34,621	35,493	29,999	43,592	43,470

事業費の内訳		(単位：千円)								
	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事 業 費 内 訳	運行委託料	R3	予算	43,320	43,320	保険料	R3	予算	7	7
		R4	予算	43,198	43,198		R4	予算	7	7
	印刷製本費	R3	予算	19	19		R3	予算		
		R4	予算	19	19		R4	予算		
	消耗品費	R3	予算	45	45		R3	予算		
		R4	予算	45	45		R4	予算		
	停留所関連工事	R3	予算	121	121		R3	予算		
		R4	予算	121	121		R4	予算		
	停留所標柱運搬委託	R3	予算	80	80		R3	予算		
		R4	予算	80	80		R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期間	R2 ~ R7		要求額	241,000

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開							
16	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">R3まで</td> <td>平成25年度3月～平成27年度 実証運行 平成28年度～ 本格運行</td> </tr> <tr> <td>R4</td> <td>継続運行</td> </tr> <tr> <td>R5以降</td> <td>継続運行</td> </tr> </table>	R3まで	平成25年度3月～平成27年度 実証運行 平成28年度～ 本格運行	R4	継続運行	R5以降	継続運行
R3まで	平成25年度3月～平成27年度 実証運行 平成28年度～ 本格運行						
R4	継続運行						
R5以降	継続運行						

Ⅴ. 要求のポイント

17	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">要求のポイント</td> <td>運行に要する費用等を要求。</td> </tr> </table>	要求のポイント	運行に要する費用等を要求。
要求のポイント	運行に要する費用等を要求。		

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺・モビリティ・イノベーション推進事業			事業番号	017-068
担当部署名	建築都市	局	交通部	部	東西交通担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～	施策	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	④新たな交通システムの導入			
			有・無	指標名	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(山)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.2	
		寄与するKPI	有	取組	東西交通の整備など交通ネットワークの機能強化			
			有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—		
2	関連計画							「堺グランドデザイン2040」、「堺市都市計画マスタープラン」、「堺駅・堺旧港周辺活性化ビジョン (案)」、「堺観光戦略」、「堺スマートシティ戦略」、「堺環境戦略」、「堺市移動等円滑化促進方針」、「堺市交通バリアフリー基本構想」
3	事業開始年度		令和 2 年度		終了 (予定) 年度	令和 12 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)							「交通政策基本法」、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」、「道路法」、「道路交通法」、「軌道法」、「道路運送法」、「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、民間企業
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	堺市民及び市外からの来訪者
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	ウォークラブルな都市空間の形成や回遊性の向上を図り、都心エリアの活性化に繋げる
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	SMIプロジェクト (素案) の概要 【事業内容】 ○次世代都市交通の導入 ○都心と美原を結ぶBRTの導入検討 ○次世代モビリティ等を活用した面的な移動環境の充実 ○公共交通の脱炭素化 ○都心エリアへのCaaSの導入 【スケジュール】 ○令和3年8月に公表したSMIプロジェクト (素案) に基づき、市民意見募集を行った上で、導入計画を策定する。 ○実証実験等を通じて、段階的にSMIプロジェクトを推進する。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	民間企業 (コンサルタント、バス運行事業者等)
10	公民連携・協働事業	民間企業との連携、SMI都心ラインの推進に係る協議会 (今後設置予定)

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位		実績	実績見込み	目標	目標 終了 (予定) 年度
	堺東駅・堺駅の乗降客数 (定期利用者を除く)	人		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和12年度
			目標値	-	39,400	43,800	-
			実績値	30,935	-	-	-
			達成率	#VALUE!	#VALUE!	-	-
	当該指標を選定した理由	都心エリアへの来訪者のアクセス拠点である堺東駅・堺駅の乗降客数を確認することで、都心エリアの活性化状況を把握することができるため					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市基本計画2025において設定しているKPI					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績	実績見込み	目標	
	SMIプロジェクトに係る計画の策定	回		令和2年度	令和3年度	令和4年度	
			目標値	0	1	1	
			実績値	0	1	-	
			達成率	#DIV/0!	100%	-	-
	当該指標を選定した理由	方向性や進め方等について示した上で、市民や関係者等と協力し、着実かつ効果的に事業を推進するため					
	目標値の設定根拠・算出方法	基本方針及び導入計画の策定					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	堺・モビリティ・イノベーション推進事業	事業番号	017-068
-------	---------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
		0	0	0	24,188	39,240
13 財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0	0
	その他 ()	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	24,188	39,240

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	R4				R3	R4		
14	SMI都心ラインに係る調査等	R3	予算	0	0		R3	予算		
		R4	予算	21,240	21,240		R4	予算		
	SMI美原ラインに係る実証実験等	R3	予算	0	0		R3	予算		
		R4	予算	18,000	18,000		R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
	R3	予算				R3	予算			
	R4	予算				R4	予算			

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R4 ~ R5	要求額	45,000
----	----	---------	-----	--------

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ○新たな交通システムの導入に関する検討 ○SMIプロジェクト(素案)を公表 ○SMIプロジェクト(素案)に関して関係者と調整
	R4	<ul style="list-style-type: none"> ○SMI都心ラインに係る調査、検討、導入計画策定 ○SMI美原ラインに係る実証実験の実施
	R5以降	<ul style="list-style-type: none"> ○実証実験等を通じて、段階的にSMIプロジェクトを推進する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度については、SMI都心ラインの導入計画の作成やSMI美原ラインの導入に向けた調査・検討に係る予算要求を行う。 ○SMI都心ラインの導入計画の作成にあたっては、大小路線等における現況交通量のほか、ARTステーションや大小路交差点の整備による影響を把握する必要があることから、「大小路線外交通量調査業務」及び「SMI都心ラインに係る調査業務」について要求するものである。 ○都心エリアと美原都市拠点を結ぶSMI美原ラインの導入に向けて、需要や定時性、速達性などを検証する必要があることから、実証実験の実施と調査について要求するものである。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

一般会計				要求区分	その他
				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	密集住宅市街地整備事業 (新湊地区)			事業番号	017-023
担当部署名	建築都市	局	都市整備	部	都市整備担当 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性	—		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(11)住み続けられるまちづくりを	ターゲット	11.5,11.b
			有	取組	密集市街地対策の推進		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	住生活基本計画 (全国計画)					
3	事業開始年度	平成 5 年度	終了 (予定) 年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	生活基本法、密集市街地における防災街区の整備の促進に関する法律、都市計画法					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、地域団体・市民
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	新湊地区住民と関係権利者 (地区内居住者数約6,500人)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	密集市街地において、不足する道路や公園などの公共施設整備と老朽木造住宅等の建替えを促進することにより、防災性の向上と住環境の改善を図る。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	新湊地区において、主要生活道路の拡幅等整備、避難路の確保を行う。また、老朽木造賃貸住宅の良質な賃貸住宅への建替え、木造住宅の除却に要する費用の一部を補助することにより、建替えを促進する。
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託 (公共嘱託登記士地家屋調査士協会、補償コンサルタントなど)、補助金 (新湊地区住民や関係権利者)
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 終了(予定)年度 令和7年度	
						目標値
11 地震時等に著しく危険な密集市街地の解消	ha	目標値	54	18	18	0
		実績値	36	0		
		達成率	67%	0%		
当該指標を選定した理由		地震時等に著しく危険な密集市街地の解消				
目標値の設定根拠・算出方法		地震時等に著しく危険な密集市街地に指定されている新湊地区54haの解消				
活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度		
12 主要生活道路・避難路の整備延長	m	目標値	55	55	55	
		実績値	0	0		
		達成率	0%	0%		
当該指標を選定した理由		主要生活道路の拡幅整備				
目標値の設定根拠・算出方法		主要生活道路の拡幅整備				

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	密集住宅市街地整備事業（新湊地区）	事業番号	017-023
-------	-------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
			決算	決算	決算	予算	予算要求
事業費 (a)			37,212	425,949	65,522	107,812	289,823
		国支出金	9,720	166,906	25,814	16,200	120,605
		府支出金	4,428	47,638	6,383	5,400	27,125
		市債		112,600	11,200	3,500	6,300
		その他（元湊小学校施設光熱水費）	47	46	34	50	50
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	23,017	98,759	22,091	82,662	135,743

事業費の内訳

(単位：千円)

14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
			R3	予算				R3	予算		
		不動産鑑定料	R3	予算	1,300	1,300	老朽木造住宅除却等補助	R3	予算	18,000	7,200
			R4	予算	1,990	1,990		R4	予算	139,910	68,155
		測量業務	R3	予算	5,600	5,600	道路拡幅等用地費	R3	予算	18,500	12,350
			R4	予算	2,470	2,470		R4	予算	1,500	75
		支障物件調査費	R3	予算	18,400	18,400	物件移転補償費	R3	予算	10,600	2,450
			R4	予算	2,000	2,000		R4	予算	112,600	37,750
		コミュニティ住宅修繕費	R3	予算	8,100	8,100	道路拡幅等整備費	R3	予算	11,000	11,000
			R4	予算	1,000	1,000		R4	予算	0	0
		撤去工事費	R3	予算	12,100	12,100	その他（消耗品など）	R3	予算	4,212	4,162
			R4	予算	25,000	19,000		R4	予算	3,353	3,303

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	要求額
----	----	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	・主要生活道路等の用地取得、物件補償ほか
	R4	・主要生活道路等の用地取得、物件補償ほか
	R5以降	・主要生活道路等の用地取得、物件補償、道路整備 ・元湊小学校跡地の校舎等の解体ほか

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	主要生活道路等の整備に必要な用地取得費及び物件移転補償費と、老朽木造住宅建替促進による老朽木造賃貸住宅建替補助金を要求する。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	D 建設・整備事業
事務事業名	都市再開発等推進事業	事業番号
担当部署名	建築都市 局 都市整備 部	017-060
	中百舌鳥・拠点整備担当	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~		施策	(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出		
		有	取組の方向性	③都市拠点にふさわしい駅前空間の創出と交通利便性の向上						
		寄与するKPI	有・無	指標名	イノベーション創出につながる事業数					
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	74件(5年累計(2015~2019年度))		目標値	100件(2021~2025年度の累計)		
		有	取組	堺グランドデザイン2040に基づく各エリアの特色を活かした都市整備の推進						
		寄与するKPI	有・無	指標名	ゴール(1)住み続けられるまちづくりを		ターゲット	11.3		
		無	現状値	—		目標値	—			
2	関連計画	堺グランドデザイン2040、堺市都市計画マスタープラン、地域再生計画								
3	事業開始年度	令和 1 年度		終了(予定)年度	令和 7 年度					
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	都市計画法、都市再開発法								

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁、民間企業、地域団体、その他 (NAKAMOZUイノベーションコア創出コンソーシアム)							
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	民間企業、地権者、駅周辺住民・駅利用者							
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市有地等の利活用に向けた検討を進め、民間活力を活かした駅周辺の都市機能の更新等により、利便性や快適性の向上と地域の活性化をめざす。なかまがエリアにおいては、大学や産業支援機関、スタートアップ企業などが集積し、ビジネス・学術での交流機会が創出され、産学官連携などによる新たな技術やビジネスが生まれるイノベーション創出拠点の形成をめざす。							
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・市有地等の利活用における民間活力導入の検討に向けた基礎資料の作成、市場調査等の実施 ・市有地の利活用における民間活力導入に向けた実施方針等の検討 ・産学官からなるコンソーシアムによる取組の推進 							
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	委託 (コンサルタント)							
10	公民連携・協働事業	産学官によるコンソーシアムの設立 ・地域団体との連携							

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績見込み		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標 終了(予定)年度
11 市有地等の利活用の件数	件	目標値	—	0	0	2
		実績値	—	0	—	—
		達成率	—	—	—	—
当該指標を選定した理由	都市拠点における都市機能の更新に向け、実際に動かしていくことが本事業の目的につながるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	駅前空間等の都市拠点における市有地等の利活用に向け、具体的に動き出した件数を算出					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 実施主体となる団体との協議会等への出席回数	回	実績	実績見込み		目標	
		令和2年度	令和3年度	令和4年度		
		目標値	—	5	5	
		実績値	—	6	—	
達成率	—	120%	—		—	
当該指標を選定した理由	市有地等の利活用に向けて具体的に動かすためには、関係者の意向のバランスを取りながら、協議を重ね、調整し、進める必要があるため。					
目標値の設定根拠・算出方法	実施主体となる団体との協議会等へ市が出席した回数を算出					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	都市再開発等推進事業	事業番号	017-060
-------	------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

事業費 (a)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	決算	決算	決算	予算	予算要求
	0	9,020	16,662	28,257	68,117
13 財源内訳					
国支出金				5,000	19,500
府支出金					
市債					
その他 ()					
受益者負担金(使用料、手数料等)					
一般財源	0	9,020	16,662	23,257	48,617

事業費の内訳

(単位：千円)

事業費内訳	主な項目	年度		事業費	うち一般財源	主な項目	年度		事業費	うち一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14	拠点周辺における都市機能更新に関する調査検討支援業務等	R3	予算	17,400	17,400		R3	予算		
		R4	予算	58,300	43,300		R4	予算		
	コンソーシアム負担金等	R3	予算	10,500	5,500		R3	予算		
		R4	予算	9,500	5,000		R4	予算		
	事業者選定委員会委員報酬	R3	予算	357	357		R3	予算		
		R4	予算	317	317		R4	予算		
		R3	予算				R3	予算		
		R4	予算				R4	予算		
	R3	予算				R3	予算			
	R4	予算				R4	予算			

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額
----	----	-------	-----

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	市有地等の利活用に向け、利活用方針や事業スキームの検討、地元支援などを行うほか、なかみずエリアにおいては産学官からなるコンソーシアム (NAKAMOZUIノベーションコア創出コンソーシアム) の設立及びイノベーション創出拠点の形成に向けたロードマップ作成などを行う。
	R4	市有地等の利活用に向け、引き続き、事業スキームの検討や基本計画の作成、都市計画変更に係る資料の作成、地元支援などに取り組むほか、堺市駅前公共施設用地においては、活用に向けた事業者公募を開始する。
	R5以降	市有地等の利活用に向け、税源の涵養にも意識しながら、それぞれの地区の事業進捗状況に応じた取組を実施する。

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	なかみずエリアの活性化及びイノベーション創出拠点の形成に向け、産学官プラットフォーム「NAKAMOZUIノベーションコア創出コンソーシアム」の活動支援等を行う。駅前については、令和3年度に作成する駅前空間の利活用基本方針 (素案) を踏まえ、「利活用基本計画 (素案)」を策定する。また、堺市駅前においては、民間投資を活用した土地の利活用を図るために、事業者募集要項の作成等に取り組み、津久野駅周辺においては、駅前拠点にふさわしい都市機能更新を図るために、地元主体によるまちづくり活動の支援等を行う。
----	---------	--

令和4年度 事務事業予算要求シート（1）

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	住宅専門家相談事業	事業番号 017-030
担当部署名	建築都市 局 住宅 部	住宅まちづくり 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—	
			無	取組の方向性	—	—	—	
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—	—
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—	
			無	取組	—	—	—	
		寄与するKPI	有・無	指標名	—	—	—	—
			無	現状値	—	目標値	—	—
2	関連計画	堺市空家等対策計画						
3	事業開始年度	平成 16 年度	終了（予定）年度	令和 7 年度				
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	マンションの管理の適正化の推進に関する法律、空家等対策の推進に関する特別措置法等						

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	管理組合役員、区分所有者、空き家所有者、市内在住の方など
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	住宅専門家相談を通じ、住宅関係諸問題（マンション、空き家を含む）について、専門的見地から相談に応じることにより、安全で良質な住宅ストックの形成に資すること、及び市民の安全で安心な暮らしを確保することを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	毎月無料で弁護士・司法書士等による専門家相談を実施している。市は、相談員の派遣に係る経費（報償費、旅費）を支出している。
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	大阪弁護士会・大阪司法書士会等
10	公民連携・協働事業	一部の相談は民間の不動産団体の無償協力による実施

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績 令和2年度	実績見込み 令和3年度	目標 令和4年度	目標 終了（予定）年度 令和7年度
11 分譲マンションセミナー参加人数	人	30	20	30	30
		28	26	—	—
		93%	130%	—	—
		当該指標を選定した理由 セミナー受講者が増えれば、マンション管理の正しい知識をより普及できるため。			
目標値の設定根拠・算出方法		セミナーの定員数			
12 相談会実施日数	日	40	40	40	—
		23	31	—	—
		58%	78%	—	—
		当該指標を選定した理由 専門家による相談を受ける機会が多いほど、早期の住宅問題の解決につながるため。			
目標値の設定根拠・算出方法		相談会実施予定日数			

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	住宅専門家相談事業	事業番号	017-030
-------	-----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
		事業費 (a)			414	425	412
		国支出金	165			284	401
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	249	425	412	350	491

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
				謝礼金	R3	予算	592	326		R3	予算
		R4	予算		832	458		R4	予算		
		費用弁償 (その他)	R3	予算	42	24		R3	予算		
			R4	予算	60	33		R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)		
15	期 間	R ~ R	要 求 額	

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・H16年度 住宅専門家相談開始 ・H29年度 活用・相続相談追加 ・R元年度 分譲マンションセミナー開始
	R4	事業の継続 (分譲マンションセミナーの拡充)
	R5以降	事業の継続

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<p>近年、人口減少や既存住宅の老朽化、社会的ニーズの変化等により、適切に管理が行われない住宅が増加してきている。このような中、住宅関係の相談希望者に対し、法律相談等の専門家相談を実施することにより、住宅トラブル解決の支援及び空き家等の利活用を促進することを目的とする。</p> <p>今後、住宅の老朽化に伴う相談、空き家関係の相談、分譲マンション関係の相談が増加すると考えられる。また、令和4年度より法改正に伴い、マンション管理計画認定制度が開始することから、分譲マンション関係の相談や分譲マンションセミナーを充実させる必要がある。これらを踏まえ、住宅専門家相談及び分譲マンションセミナーを実施する。</p>
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市民間分譲マンション建替え促進事業	
担当部署名	建築都市 局	住宅 部
	事業番号	017-031
	住宅まちづくり	課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
		寄与するKPI	無	取組の方向性	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	目標	—	ターゲット	—
		寄与するKPI	無	取組	—	—	—
		有・無	指標名	—	—	—	
	現状値	—	目標値	—	—	—	
2	関連計画	—					
3	事業開始年度	平成 13 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	マンションの建替え等の円滑化に関する法律					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	・分譲マンション建替え支援制度・・・築25年以上、区分所有者10人以上の分譲マンション 約600団地 (H28年度分譲マンション実態調査より)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	分譲マンションの建替えを行おうとするものに対して、建替えに至る合意形成に係る費用の一部を補助することにより、マンションの建替えを促進し、良好な住環境の形成を図ることを目的とする。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・分譲マンション建替え支援制度・・・分譲マンションの建替えを行おうとする管理組合に対して、合意形成の段階に応じてアドバイザーの活用のために要する費用の一部を補助する。 ・STEP 1 (補助上限額 50万円)・・・管理組合に建替えの検討を促すための合意形成活動へ補助 ・STEP 2 (補助上限額250万円)・・・建替え推進決議に向けた合意形成活動へ補助 ・STEP 3 (補助上限額500万円)・・・建替え決議に向けた合意形成活動へ補助
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	分譲マンション管理組合
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	目標値	実績	実績見込み	目標	目標 終了(予定)年度
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和7年度
11 分譲マンション建替え支援事業(本事業を活用した団地数及び相談件数)	件	目標値	1	1	1	1
		実績値	1	2	—	—
		達成率	100%	200%	—	—
当該指標を選定した理由	マンション建替えを促進し、良好な住環境の形成を図るため					
目標値の設定根拠・算出方法	本事業を活用し、建替え推進決議、建替え決議を行った団地数を活用指標として設定					
12 活動指標(成果を上げるための手段) 管理組合への制度の周知	件	目標値	500	500	500	—
		実績値	505	532	—	—
		達成率	101%	106%	—	—
当該指標を選定した理由	制度の周知を行い、本事業を活用した団地数及び相談件数を増やすため					
目標値の設定根拠・算出方法	堺市内の分譲マンション数					

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	堺市民間分譲マンション建替え促進事業	事業番号	017-031
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
		事業費 (a)			1,380	8,393	359
		国支出金	621			1,350	3,600
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	759	8,393	359	1,650	4,400

事業費の内訳		(単位：千円)									
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
				堺市分譲マンション建替え支援制度補助金	R3	予算	3,000	1,650		R3	予算
			R4	予算	8,000	4,400		R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		
			R3	予算				R3	予算		
			R4	予算				R4	予算		

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	～	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	建替えに向けた合意形成の推進 (継続実施) H28年度、R3年度 分譲マンション実態調査
	R4	建替えに向けた合意形成の推進 (継続実施)
	R5以降	建替えに向けた合意形成の推進 (継続実施)

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	分譲マンションの建替えを行おうとする者に対して、建替えに至る合意形成に係る費用の一部を補助することにより、マンション建替えを促進し、良好な住環境の形成を図ることを目的とする。 今後、マンションの老朽化等に伴い、建替えの合意形成を図るため、新たに分譲マンション建替え支援制度を活用すると見込まれる団地分の補助額を要求する。
----	---------	---

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	泉北ニュータウン子育て世帯住まいアシスト事業	事業番号
担当部署名	建築都市 局 住宅 部	017-064
		住宅まちづくり 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	4.人や企業を惹きつける都市魅力 ~Attractive~	施策	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造
		有	取組の方向性	①多様な世代が住み、働き、安心して暮らし続ける機能の充実			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	目標値	—
		有	取組	—			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

2 関連計画	泉北ニュータウン再生指針（本市策定）		
3 事業開始年度	平成 22 年度	終了（予定）年度	令和 7 年度
4 実施根拠 (根拠法令、条例等)			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	泉北ニュータウン外から転居または転入してきた新婚世帯、子育て世帯等。 (R4年度の補助対象世帯)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	泉北ニュータウンへの若年層の定住を促進し、若年層の転出超過による泉北ニュータウンの人口減少・高齢化を抑制する。
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	泉北ニュータウン外から転居または転入してくる新婚世帯、子育て世帯等の賃貸住宅の家賃の一部を補助（最大月2万円、最長60か月）
9	主な支出先（委託・補助金・負担金等）	泉北ニュータウン子育て世帯等住まいアシスト補助事業補助対象者（個人）
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績				目標	目標 終了(予定)年度
			令和2年度	実績見込み 令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11	泉北ニュータウン子育て世帯等住まいアシスト補助対象世帯のNT内定住率	%	目標値	-	-	-	-	
			実績値	55	55			
			達成率	-	-			
	当該指標を選定した理由	事業成果を定量的に評価できるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度から新規申込受付を停止したため、目標設定になじまない						
12	活動指標(成果を上げるための手段) 泉北ニュータウン子育て世帯等住まいアシスト補助事業に対する子育て世帯及び若年夫婦世帯の新規申込み世	%	実績	実績見込み	目標			
			令和2年度	令和3年度	令和4年度			
			目標値	70	0	0		
	実績値	36	0					
達成率	51%	#DIV/0!						
	当該指標を選定した理由	事業成果を定量的に評価できるため						
	目標値の設定根拠・算出方法	令和3年度から新規申込受付を停止したため、目標設定になじまない						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	泉北ニュータウン子育て世帯住まいアシスト事業	事業番号	017-064
-------	------------------------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト		(単位：千円)					
13	財 源 内 訳	項 目	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 予算	令和4年度 予算要求
		事業費 (a)			53,088	52,666	47,618
		国支出金	8,757				
		府支出金					
		市債					
		その他 ()					
		受益者負担金(使用料、手数料等)					
		一般財源	44,331	52,666	47,618	46,578	29,679

事業費の内訳		(単位：千円)													
14	事 業 費 内 訳	主な項目	年度		事業費		うち 一般財源		主な項目	年度		事業費		うち 一般財源	
				泉北ニュータウン子育て世帯住まい アシスト事業補助金	R3	予算	46,578	46,578				R3	予算		
			R4	予算	29,679	29,679				R4	予算				
			R3	予算						R3	予算				
			R4	予算						R4	予算				
			R3	予算						R3	予算				
			R4	予算						R4	予算				
			R3	予算						R3	予算				
			R4	予算						R4	予算				
			R3	予算						R3	予算				
			R4	予算						R4	予算				

債務負担行為		(単位：千円)			
15	期 間	R	~	R	要 求 額

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開		
16	R3まで	補助対象世帯への家賃補助支払い
	R4	補助対象世帯への家賃補助支払い
	R5以降	補助対象世帯への家賃補助支払い

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	補助対象者への補助金支払いに係る経費を計上
----	---------	-----------------------

令和4年度 事務事業予算要求シート (1)

	要求区分	その他
一般会計	事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	転用敷地処分事業	事業番号 017-039
担当部署名	建築都市 局 住宅 部	住宅管理 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	—	施策	—
			無	取組の方向性		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—	ターゲット	—
			無	取組		—	
		寄与するKPI	有・無	指標名		—	
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画						
3	事業開始年度	平成 15 年度	終了(予定)年度	令和 7 年度			
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	公営住宅法、堺市財産規則					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市営住宅用地のうち建替えにより未利用地となった土地 (15宅地)
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	行財政改革及びファシリティマネジメントの視点による利活用の推進
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など ※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	<ul style="list-style-type: none"> ・既設建物の解体除却及び利活用に必要な土地境界の確定・測量・登記事務等 ・売却等の利活用までの維持管理
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	(公社) 大阪公共嘱託登記土地家屋調査士協会
10	公民連携・協働事業	

II. 事業の目標

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績				目標	目標 終了(予定)年度
			令和2年度	実績見込み 令和3年度	令和4年度	令和7年度		
11	土地売却件数	件	目標値	1	4	4	1	
			実績値	1	3			
			達成率	100%	75%			
	当該指標を選定した理由	未利用地の売却により行財政改革の取組に貢献できるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	売却を計画している土地のうち準備が整った売却見込件数と、売却した売却実績件数						
12	活動指標(成果を上げるための手段) 土地の測量・境界確定・登記等の委託件数	件	実績	1	3	2		
			令和2年度	0	3			
			達成率	0%	100%			
	当該指標を選定した理由	土地の活用に必要な業務であるため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	土地の利活用にに向けた、測量・境界確定・登記等業務の委託件数						

令和4年度 事務事業予算要求シート (2)

事務事業名	転用敷地処分事業	事業番号	017-039
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 令和4年度予算要求額

事業コスト

(単位：千円)

	項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
		決算	決算	決算	予算	予算要求
	事業費 (a)	43,842	12,616	16,336	20,181	18,036
13 財 源 内 訳	国支出金	0	0	0	0	0
	府支出金	0	0	0	0	0
	市債	29,200	4,500	3,800	0	0
	その他 ()	0	0	0	0	0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0	0	0
	一般財源	14,642	8,116	12,536	20,181	18,036

事業費の内訳

(単位：千円)

	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源	主な項目	年度		事業費	うち 一般財源
		R3	予算				R3	予算		
14 事 業 費 内 訳	不動産鑑定料	R3	予算	4,110	4,110	移転補償金	R3	予算	880	880
		R4	予算	3,693	3,693		R4	予算	440	440
	余剰地処分に伴う敷地測量業務	R3	予算	7,103	7,103	福泉住宅分筆等に係る樹木伐採等業務	R3	予算	0	0
		R4	予算	3,838	3,838		R4	予算	2,750	2,750
	管理地除草業務	R3	予算	1,955	1,955		R3	予算		
		R4	予算	1,222	1,222		R4	予算		
	アスベスト分析・調査業務	R3	予算	1,220	1,220		R3	予算		
		R4	予算	1,180	1,180		R4	予算		
	木造住宅除却工事	R3	予算	4,913	4,913		R3	予算		
		R4	予算	4,913	4,913		R4	予算		

債務負担行為

(単位：千円)

15	期間	R ~ R	要求額	0
----	----	-------	-----	---

Ⅳ. スケジュール

経過及び今後の展開

16	R3まで	<ul style="list-style-type: none"> ・余剰地の適正管理 ・測量及び敷地面積の確定 ・余剰地の売却、貸付け等
	R4	事業の継続実施
	R5以降	事業の継続実施

Ⅴ. 要求のポイント

17	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・余剰地の利活用による歳入の確保を図る。 ・余剰地の利活用に必要となる境界確定及び測量・登記、並びに不動産鑑定を実施する。 ・木造市営住宅の除却工事を実施する。
----	---------	--